



放送研究会の今をお届け！

新体制が始動！



制作局全体写真



ホケトーク企画



制作局

昨年度より新たに制作局という機関が設立されました。何を行うかが決まっていないことが特徴であるため、需要に沿ったイベントを柔軟に企画することができます。夏に行った映像編集イベントでは、オープニング映像やエンディング映像を制作しました。これは一年生が編集を始めるきっかけ作りとなりました。11月から3月にかけては、映像制作と企画ステージを組み合わせた新企画「ホケトーク」を実施しました。これは、通常の番発と同様にリハ職を設置し、制作した映像をステージ上で出演者とともに鑑賞しながらコメントやツッコミを行う、映像制作と企画だけの新しい形の番発です。当日は「踊りたくない放研」と「ビビリ1グランプリ」の2つの企画を行い、大いに盛り上がりました。

★制作局長奥村愛子コメント↓

今年度の制作局は、幹部5人(3年)に補佐6人(2年)を迎えた11人で活動しております。創設2年目の部署ではありますが、4月～5月にかけて74期に向けた新歓イベントとして「CM制作イベント」と「ショートドラマ制作イベント」を開催いたしました。これらは一見ハードルが高いと思われるがちな編集に興味を持つきっかけ作りの場となることを目的としました。映像制作の経験豊富な先輩から撮影編集の技術を学び、作品を完成させる楽しさを体験してもらえていたと思います。今後のイベント詳細は未定ですが、映像制作に限らず需要に沿ったイベントを開催していく予定です。最後に、制作局は番発以外でも会員が活躍できる場にしたいと考えています。放研=番発のイメージを払拭し、放研会員がもつ様々な個性を活かせる居場所を目指します。現在はサークル内部に向けたコンテンツを実施していますが、今後は外部にも活動の輪を広げていきたいと考えています。



YouTubeイベント



技術部イベント



アナウンス部イベント



休日イベント



新入生歓迎会イベント



4月になり、新たに74期の一年生が入学してきたことを受け、放送研究会では新歓イベントを開催しました。新人担当を中心に準備を重ねた結果、今年度は200人を超える新入生が本入会してくれました。多くの新入生に放研へ興味を持ってもらうことができ、非常に活気のある新年度のスタートとなりました。

4月10日には、放研の活動をより身近に感じてもらうことを目的として、「YouTubeイベント」を実施しました。イベントでは、放研のYoutubeのタイトルを当てる「タイトル当てクイズ」や逆再生された音声の元の単語を当てる「逆さま探偵団」、箱に入ってる物を予想する「箱の中身はなんだろう」など、動画企画を活かしたレクリエーションを行いました。放研のYouTubeチャンネルを宣伝しながら、新入生同士や先輩との交流を深める機会となり、終始盛り上がりを見せていました。

また、4月13日と15日には、技術部イベント・アナウンス部イベントを開催しました。実際に機材に触れたり、アナウンス体験を行ったりすることで、74期の新入生に放研が普段どのような活動をしているのかを、楽しみながら知ってもらうことができました。イベントを通して、それぞれの部門への理解や興味も深まったように感じます。

そして4月19日には、休日イベントを実施しました。今回は、先輩2人と74期の4~5人でグループを組み、押上から浅草寺まで歩く企画を行いました。このイベントは「逃走中」をモチーフとしており、ハンター姿の先輩たちから逃げながら、道中で出されるミッションに挑戦し、浅草寺を目指す内容となりました。新入生同士だけでなく、先輩とも自然に交流できる機会となり、学年を超えた親睦を深めることができました。全体を通して笑顔の絶えないイベントとなり、新入生にとっても思い出に残る一日になったと思います。

★新人担当(玉川満喜・榎戸夢・佐々木愛沙)コメント↓

今年度の新歓では、イベントの企画運営や、対面新歓に向けたビラ・ポスター・パンフレット作成、SNS投稿、入会人数の管理などを行いました。我々の至らないところも多くありましたが、補佐や、その他新歓に参加してくれた多くの会員が献身的に新歓活動に協力してくれました。今年度は意欲的な新入生が多く、活動への期待を感じます。今はまだ興味が薄い人も、これから活動を通して放送研究会の魅力を知り、長く続けてくれたら嬉しいと考えています。また、放送研究会は学年ごとに雰囲気や方向性が変化するサークルだと思いますが、その変化を楽しみながら、一人ひとりの「やりたい」を実現できる環境であり続けてほしいと感じます。



プレ番組発表会全体写真



P・濱野友斗(左) D・梅野香緒(右)



新入生歓迎番組発表会全体写真



P・渡邊楓花(左) D・田口奏(右)



プレ番組発表会

4月25日にプレ番組発表会が行われました。新入生が初めて自分たちでリハ職を体験し、72・73期が新入生である74期に教える番発です。一部、二部共に100名近くの新入生が参加し、大きな盛り上がりを見せました。

★プロデューサー濱野友斗コメント↓

プロデューサーに就任してからの私は、1番前に立って組織を引っ張るとはどのようなことなのか。人からの信頼を得ることがいかに難しく、答えがないものなのか。そういったことをたくさん考えさせられ、実行してみる毎日でした。とても貴重でかつ放送研究会でしかできない、そんな経験になりました。

実際に新入生から参加して良かったと声をかけてもらえたときは、プロデューサーをやった自分の努力が報われたなと実感すると共に、新歓イベントとしての役割を達成できたのかなと感じる瞬間でもありました。

今後も新人担当補佐、そして1人の2年生の先輩として74期の1年生たちに放研の魅力を体験してもらえるような活動をしていきたいと思います。

★ディレクター梅野香緒コメント↓

プレ番組発表会は、他の番発とは違い、PDが新人担当補佐の中から選ばれ、PDがリハ職のメンバーを決め、2.3年参加の番発で2年がPDをやります。また、1番は1年生に番組発表会を知ってもらう、体験する特別な番発です。いつもとは違う番発であまり番発経験のない私がDをやっているのかという不安もありましたが、リハ職のメンバーにP前列に助けられながら、最高の形で番発を終えられました。この番発を通して、1年生に放研が楽しい場所だと伝えられていたら幸いです！



新入生歓迎番組発表会

5月16日に新入生歓迎番組発表会が行われました。73期のクリスマスパーティー以来となる同期番発で、新入生である74期には実際の番発を間近で見ってもらう場、昨年度師匠などでお世話になった72期へは成長を披露する場になりました。

★プロデューサー渡邊楓花コメント↓

73期の最後の同期番発となる新入生歓迎番組発表会を、新たに迎い入れた74期の後輩や先輩方にご来場いただき、無事開催することができました。

今回は「オカルト×大学生」というテーマのもと、シリアスかつ、微細な感情表現が必要となる演技パートを軸に、新入生参加型のトーク企画や毎度お馴染みの大喜利企画を行いました。音響や照明、映像制作の内容・クオリティもさらに高まり、アナウンス部・技術部問わず、放送研究会に入会してからの成長を感じることができた番発となりました。

台本作りに半年を費やした番発でしたが、Pとして同期と切磋琢磨したりハ期間はあっという間に過ぎていきました。自身の未熟さゆえ、心が折れそうになったことも何度もありましたが、相棒のDをはじめ、多くの同期や先輩方に支えられ、新入生に番組を届けることができました。これからの放送研究会の活動においても、この度の番発の経験を活かし、明るくて何事にも積極的な73期の良さを発揮してまいります。

★ディレクター田口奏コメント↓

新発Dを務めさせていただきました、田口奏です！

クリスマスパーティー以来久々の同期発であり、最後の同期発でもある新発、さらに新入生に向けたものであるという側面もあり、「多方面に楽しいもの」を大切にしてきました。また、同期の技術面での成長を間近でみられ、とても贅沢な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

お問い合わせ

ご不明点やご相談等がございましたら、下記よりお気軽にご連絡ください。

メールアドレス：rbcob2026@gmail.com

今後の活動予定

- ・6月20日（土）～21日（日）アナウンス部合宿
- ・6月23日（火）2026年第1回OB・OGキャリア座談会
- ・6月27日（土）前期番組発表会
- ・7月12日（日）～13（月）ミニ番組発表会



※日程は変更になる場合があるので、各SNSをご覧ください。

Instagram：https://www.instagram.com/rikkyo_houken/
X：https://x.com/rikkyo_rbc?s=21

活動について

私たち立教大学放送研究会は、70年以上の歴史を持つ伝統あるサークルとして、毎年11月の学園祭においてステージイベントの企画・制作・運営を行っております。

近年では、芸能人ゲストを招いた企画や、大規模な映像・音響演出など、ステージのクオリティ向上に向けた取り組みを続けております。

しかしながら、物価の高騰や機材費の上昇により、運営費の確保が大きな課題となっております。現役生一同、限られた予算の中で最大限の工夫を重ねておりますが、より良いステージを実現するためには、さらなる支援が必要な状況です。

ご支援のお願い

ご挨拶・御礼

平素より立教大学放送研究会の活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、OB・OGの皆様とのつながりをより一層深めるとともに、現役生の活動を広く知っていただくため、今年度も会報誌を作成いたしました。

ご支援の方法

ご寄付：一口2,000円より承っております

ご寄付に際しまして、銀行振込によるご入金をご正しく確認させていただくため、下記フォームより寄付金額および寄付者様情報のご申告をお願いしております。どうかお力添えいただくと幸いです。

<https://forms.gle/EZsb4h7Ch4b5PDF8A>

ご支援の用途

いただいたご厚意は、以下の活動資金として活用させていただきます。

- ・映像、音響、照明機材のレンタル費用
- ・ステージで放映する映像の制作費
- ・衣装、大道具、小道具の購入や製作費

返礼について

ご支援いただいた皆様には、感謝の気持ちを込めまして、学園祭ステージへご招待いたします。ぜひ当日ご来場いただき、学生たちの晴れの舞台をご覧いただければ幸いです。

【最後に】

放送研究会の活動は、OB・OGの皆様が築いてくださった歴史の延長線上にあります。現役一同、伝統を守りながらも新たな挑戦を重ねていくため、どうか温かいご支援を賜れますと幸いです。